

＜会議録＞

会議名	平成30年度第2回小金井市児童館運営審議会		
事務局(担当課)	児童青少年課		
開催日時	平成30年11月28日(水) 午前10時～午前11時35分		
開催場所	貫井南児童館育成室		
出席者	委員	倉持会長、清水委員、吉田委員、関委員、岩重委員、山田委員、中川委員	
	その他	(欠席：緒方委員、松田委員、山中委員)	
	事務局	大澤子ども家庭部長、鈴木課長、田中係長、森主査、大嶋主任、山田主任、前田主任、野村主事、高野マネージャー	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1名
会議次第	<p>1 開会 貫井南児童館 館内見学</p> <p>2 議題 (1) 児童館事業について (2) その他</p> <p>3 閉会</p>		
会議内容	<p>1 貫井南児童館 館内見学に関連した質疑</p> <p>2(1) 児童館事業について</p> <p>○ 児童館の開館時間に関する実態調査(中間報告)により貫井南児童館・緑児童館で実施中の開館時間延長と、4館の延長時間帯や開館時間直後の利用者数比較などを報告。なお、今回は1学期及び夏休み期間だったので、次回開催時には2学期及び冬休み期間の状況を報告し、開館時間のあり方等についてご議論いただきたい(鈴木課長)</p> <p>→ 開館延長試行に関連してトラブルはどうか。また試行を継続するのか。(倉持会長・中川委員・岩重委員)</p> <p>→ トラブルは特にない。保護者や周辺地域も含め、児童館を遅くまで開館しないで、という意見は今のところなく、冬にかけて試行を引き続き行う予定(森主査・鈴木課長)</p> <p>→ 下校時間が遅くなっているので開館時間が延長されると子どもの時間が確保されてよい。また、今年の夏は猛暑で、市内全域で夏休みのプールが中止になった日がたくさんある中、早い時間から遅い時間まで涼しい児童館が開館していたのは子どもたちにとって良かった。(吉田委員・山田委員)</p> <p>○ 緑児童館の空調改修工事についてほぼ完了した旨を報告(鈴木課長)</p> <p>→ 工事期間中、一時、利用が制限されていた自由来館の小学生の戻り具合はどうか。(中川委員)</p> <p>→ ロコミにより、早い学年は翌日に、全体でも1週間程度で元に戻った。(森主査)</p>		

	<p>○ 児童館四館合同行事「じどうかんフェスティバル2018」について報告。また、来年は小金井市子どもの権利に関する条例が制定10年となるため、記念事業として、また新たな形で仕切り直しし、今までと違う方策も考えながら発展させる予定（森主査）</p> <p>→ 第一小学校という立地もあって盛況だった。工夫をすれば乳幼児も含めてもっと来場者が増える内容。四館合同の企画は今までも可能な限り子どもの主体で展開しており、今後もぶれずに続けていってほしい。（清水委員、吉田委員、関委員、岩重委員、山田委員、中川委員）</p> <p>2(2) その他</p> <p>国の保護者に対する就労促進支援の施策によって保育園、さらに学童保育の利用者が急増し、小金井市ではここ10年ぐらいは子どもが増えると言われているが、そこからは先は減ることが予想される。その中で放課後の居場所としての学童保育と児童館、ボランティアによる放課後子ども教室は性質がそれぞれ異なるが、全体としての整合性や今後10年の展望はどうか（吉田委員）</p> <p>→ 市では次期の長期総合計画の策定の中で子どもの居場所という観点も大きくクローズアップされ、次の「のびゆく子どもプラン小金井」の策定でもニーズ調査により対策を検討している。学童保育のように条例等で施設の受け入れ上限が定まっているため、近隣の学校施設や民間物件の活用を進めるしかない。一方で学童との関係としては、放課後子ども教室はボランティアによる現在の運営形態があり、児童館は自由来館施設として設立目的がそもそも異なる。また、市全体では全ての施設の老朽化問題があり、1,500億円ぐらいの修繕費用が必要なため、施設の総量抑制も必要。これらを総合的に考え、来年、再来年には、個々の建物自体の計画をつくっていかねばならないので、それらを委員の皆さまにご提示させていただく機会について、近いうちに市として判断していかねばいけない時期に来ていると認識している（大澤子ども家庭部長）</p>
配付資料	<p>平成30年度児童館の開館時間に関する実態調査（中間報告）</p> <p>じどうかんのたより（12月）</p> <p>児童館この1年のあゆみ（平成29年度）</p>
鈴木児童青少年課長	<p>それでは、おはようございます。定刻となりましたので、始めさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>本日、緒方委員、山中委員、松田委員はご欠席です。着座にて進めさせていただきます。失礼します。それでは本日配付の資料等についてご確認をさせていただきます。</p>

事務局（田中）	<p>おはようございます。資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日机前にお配りしたものでございますが、本日の次第が1部、5月から夏休みまでの開館時間延長の試行の経過を示しました「平成30年度児童館の開館時間に関する実態調査（中間報告）」A4横が1部、児童館『この1年のあゆみ』（平成29年度）」の完成版が1冊、児童館たより（12月号）になります。</p> <p>なお、この1年のあゆみにつきましては、前回7月の会議でお配りいたしました暫定版と数字等、同内容となっております。</p> <p>ご不足等ございましたら、事務局までお申しつけください。</p>
鈴木児童青少年課長	<p>資料の過不足等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、会長、お願いいたします。</p>
倉持会長	<p>皆さん、おはようございます。それでは、平成30年度第2回小金井市児童館運営審議会を始めていきたいと思っております。</p> <p>まず、今日は貫井南児童館で開催させていただいておりますので、館内見学をさせていただこうと思っております。</p> <p>貫井南児童館の山田主任、よろしく申し上げます。</p>
事務局（山田）	<p>貫井南児童館の山田です。それではよろしくをお願いいたします。</p>
	(館内見学)
倉持会長	<p>貫井南児童館をよく知る方もいれば、初めての方もいらっしゃると思いますので、ご質問とか、ご感想とか、それぞれいただければと思うんですけれども。</p> <p>関さんから順番に。</p>
関委員	<p>お庭にシャッターがある。あそこはまた別ですか。お庭のあの。</p>
倉持会長	<p>そうそう、大きいあれですよ。大きい倉庫みたいのところ、蔵みたいな。</p>
事務局（山田）	<p>よろしいですか、貫井南児童館の山田です。あれは児童館の持ち物ではなく、貫井ばやしという地元の貫井神社でお祭りをやる時の山車があそこに入っています。</p>
関委員	<p>わかりました。</p>
倉持会長	<p>では、山田さん。</p>
山田委員	<p>山田です。きのうもここの利用者懇談会に出席したんですが、ここのトイレにおむつ台がなく、今はマットを敷いて使っています。うちの子は1歳、もうすぐ2歳なので、立っておむつを替えられるのでいいんですが、赤ちゃんで、寝させておむつ替えはちょっときついなっていうのがあります。2階にはおむつ台がついていますが。</p>
倉持会長	<p>あ、公民館のほうには？</p>
山田委員	<p>公民館にはついていて、子育てひろばの時は遊戯室でかえてもいいんですけど、うんちはちょっとトイレで、という感じになると。</p>

倉持会長	トイレの床にマットを敷いて行く感じですか。
山田委員	床にマットを敷いています。要望は出したってという話なので、お願いしたいなっていう感じです。以上です。
倉持会長	ありがとうございます。中川さん、お願いします。
中川委員	バンド室ですけれど、音の鳴るものはオーケーと先ほど説明されていたんですけど、中学生、高校生が、ちょっとお話をしたいからっていう利用はできるんですか。
事務局（山田）	貫井南児童館の山田です。防音室ということで予約制になっていますので、そういった用途で使うことにはなっていますが、職員の裁量で、ほかの部屋が塞がっていて使えないときは、中高生がお話をするのに使っています。
倉持会長	ありがとうございます。岩重委員、お願いします。
岩重委員	岩重です。それぞれの部屋がゆったりしていたので、すごくいいなと思いました。お庭も大きいので、部屋が混んでいたとしても、遊びはばらばらにできるのかなと思って、すごくいいなと思いました。それと、この部屋の窓の外、南側にスペースがあるんですけど、何に使われているんでしょうか。
事務局（山田）	貫井南児童館の山田です。窓の外は特に何かに使うというわけではありませんが、例えばお庭が狭くて遊べないときに、そちらでバドミントンをしたり、遊ぶことはしています。狭いスペースなので、そんなに大きめに遊ぶことはできませんが。
倉持会長	ありがとうございます。 吉田委員、お願いします。
吉田委員	今日は来るのに道に迷ってしまいました。ただ、地域密着型の建物だなというのがとてもよくわかります。事務室内のスタッフの方、職員の方というのは、児童館の職員の方だけなのですか。
事務局（山田）	貫井南児童館の山田です。ここは公民館と併設の施設になっていて、公民館と事務室が一緒になっています。児童館の職員はロッカーのこちら側、ロッカーの向こう側は全部公民館の職員で、分けて使っています。
吉田委員	図書室に行く廊下から透けて見えていた皆さんが児童館の職員さんですね。
事務局（山田）	そうです。
事務局（森）	すいません会長、ちょっと先ほどの山田委員のご発言の件で、補足したいのですが。
倉持会長	はい、お願いします。
事務局（森）	緑児童館の森です。貫井南児童館の建物は、1972年に貫井南センターとして建てられた公民館との複合施設です。施設の管理については、ほぼ公民館になるので、建物の改修等についての大部分は公民館の予算ということに

	<p>なります。ご発言のあった1階のトイレへのおむつ台設置等も児童館の要望としては出したのですが、法的な問題がありまして難しかったようです。理由としては、一見して設置スペースがありそうなのは、だれでもトイレだけですが、そこも車椅子が入ったとき、転回時に引っかかるので設置できないということでした。児童館としては必要なものなので、ほかに何か方策がないかということで、検討をさせていただいております。</p> <p>それから、庭ですが、もともと庭は児童遊園でした。今から二十数年前にこの建物の敷地として移管されたので、現在は児童館で日常の管理をしています。昔は高い鉄塔のような大型の遊具がありました。最近は公園の大型遊具の安全性が問われ撤去される例が多いですが、ここの遊具も10年以上前に老朽化にともない撤去しました。ですが、それまで遊具が合ったためにやりづらかったドッジボールなどの遊びがやりやすくなったという利点もあります。いずれにせよ、ほかの児童館と比べて格段に広がっています。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。背景がわかって、なるほどってところですね。ありがとうございます。では、清水委員、お願いいたします。</p>
清水委員	<p>お庭がとても広くて、体を動かしたい男子にはすごくいいだろうなというふうに思いました。</p> <p>それと、もともと貫井南センターとして、その中に児童館を置いたという、今、お話がありましたけれども、公民館との併設で大人が自由に入出入りする中で、子どもたちが児童館のスペースで遊ぶということで何か今まで問題になったこととかは特にないんでしょうか。公民館なので、大人は自由に2階に行きますよね。1階に児童館があって、子どもたちがいるっていうことで、特に何か心配なこととか、そういうことはなかったんでしょうか。</p>
事務局（山田）	<p>こういうオープンな施設で心配なのは不審者ということだと思いますが、頻繁に大人の方が出入りして、特にトイレとかを借りにいらっしゃるので、職員は「こんにちは」とか必ず声をかけるようにしています。</p> <p>それと、大人の方は基本的には2階に行かれるので、何か接点があるということはそんなになんてすけれども、児童館の行事で講師として指導に来ていただいたり、公民館でのサークルの帰りがけに、例えば子どもたちの遊んでいる様子を見て声をかけてくださったりしているので、特に今までトラブルはありません。</p>
清水委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私も、見学の時にお庭の広さはすごいなと思って、あと、さっき皆さんもおっしゃいましたけれども、1つ1つの部屋の間取りに余裕があるなと思ったのですが、先ほどの背景を伺って、なるほどと思いました。</p> <p>さきほど公民館と併設ということで何かトラブルはありませんかと質問がありました。逆に、併設ということで、一緒にやっている活動、交流もあ</p>

	<p>るということでした。それについて、具体的にはどんなものがありますか。</p> <p>それと、地域密着型で住宅地の真ん中であって、お庭のところもネットが張ってありましたけれども、すぐそこに住宅の窓があるので、その辺の対応、近隣住民との対応で苦労されていることがあるか、伺えればと思います。</p>
事務局（山田）	<p>まず、公民館の利用者さんとの交流ということで言いますと、1階の一部に高齢者いこいの部屋というのがあります。そこに、ぬくい会という老人会の方がいらっしゃるのですけれども、そこの方に来ていただいて、和だこの製作とかを手伝っていただいたりします。それ以外に、国際交流サロンとって、外国人の方と活動されているサークルの方に来ていただいて、パパとお子さん向けにお料理を教えていただいたり、そういった行事の指導をいただいている状況です。</p> <p>それと、近隣の方との関係ですが、公民館の予算でネットを設置したり、遊戯室のほうは二重窓にしたりしているのですが、そういった面でご近所とのトラブルは今のところはない。例えばボールがちょっと遠くに飛んでいっちゃったりとか、そういったときに、ボールが来ましたよということで児童館に持ってきてくださる方もいらっしゃいます。</p> <p>ただ、大きな行事をやるときには、近隣の方にお便りをお返しして、こういうことをやるのでご協力をお願いしますということの周知はしています。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございました。見せていただいた上でお話を聞くと、いろいろ特徴がわかってよかったですと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、議題に入っていこうと思います。議題の1、児童館事業についてということで、まず事務局から報告をお願いします。</p>
鈴木児童青少年課長	<p>すいません、ちょっとお聞き苦しい声で申しわけないですけれども、よろしくをお願いします。前回、7月の会議の際にご報告した内容について、その後の状況をご報告いたします。</p> <p>1点目が、直営館の開館時間通年延長の試行について、でございます。開館時間通年延長の試行の夏休み以降の状況ですが、配付いたしました資料の平成30年度児童館の開館時間に関する実態調査（中間報告）をごらんください。</p> <p>上段が小学生、下段が中・高校生の内容になります。ゴールデンウィーク明け、1学期の本町児童館は開館延長をやっておりません。東児童館は、時間別の人数ということで、土日のみの17時から18時が100名、それから貫井南は40名、緑児童館は73名。中・高校生は東児童館が2名、貫井南児童館が38名、緑児童館が92名というような状況になってございます。</p> <p>それから、夏休み期間中ですけれども、時間別の全開館日で17時から18時までの人数は、東児童館が266名、それから貫井南児童館は実際には17時30分までですが210名、緑児童館も試行による17時30分までで203名。それから、中・高校生で、東児童館が51名、貫井南児童館が</p>

	<p>155名、緑児童館が172名となっております。</p> <p>それから、夏休み期間中の時間別の全開館日の朝の9時から10時についてですが、本町児童館が317名、東が143名、貫井南が123名、緑が32名。中・高校生につきましては、本町が52名、東が4名、貫井南が50名、緑児童館が5名というような状況になってございます。</p> <p>続いて2点目、緑児童館の空調改修工事についてご報告いたします。緑児童館、みどり学童保育所の全館空調の老朽化に対応した交換工事でございます。10月中旬に着工し、おおよそ2カ月弱の工事でございます。既に2階の学童保育所部分の工事を終了しまして、児童館部分の作業も今週末、来週には足場の撤去なども含めて完了する予定であります。</p> <p>2階工事中は、1階の児童館遊戯室、図書室に学童保育所を避難させたため、結果として、児童館内で行える児童館事業が乳幼児を中心としたものに限定されておりました。緑小の校庭開放、放課後子ども教室との連携等、取り組みが必要でございましたが、現在は工事範囲外の遊戯室も空きましたので、通常どおり、放課後の小学生の自由来館利用が可能となっております。</p> <p>次回開催は緑児童館でございますので、その際、現地をごらんいただければと存じます。</p> <p>3点目、四館合同行事「じどうかんフェスティバル」について、でございます。先週の金曜日に小金井第一小学校体育館で開催させていただきました。来場いただきました委員の皆様には、お忙しい中、ありがとうございました。内容や進捗状況等につきましては、森からご報告をさせていただきます。</p>
倉持会長	<p>お願いします。</p>
事務局（森）	<p>緑児童館の森です。今、課長からありました、じどうかんフェスティバルについてのご説明をさせていただきます。</p> <p>平成30年11月23日の勤労感謝の日の祝日におきまして、小金井第一小学校の体育館をお借りして、「じどうかんフェスティバル2018」という名称で四館合同事業を行いました。この事業については、この名称をつけてから今回が6回目ですが、2016年度については児童館設立50周年の記念事業という形で小金井宮地楽器ホールで行い、それ以外については、これまで小金井第三小学校の体育館をお借りして行ってきました。ただ、毎年、参加した子どもたちから、ちょっと遠いとか、小金井の東のほうにあるので、友達を呼びづらいとかというような意見がありまして、毎年、ほかのところでできないかということについて、いろいろ検討していました。小金井第一小学校は比較的、市の中心にあるということで、我々にとっても一番の候補だったんですが、なかなか日程の調整が合いませんので、やっと今回うまく学校の行事と重なることもなくお借りすることができました。</p> <p>今回は天候にも恵まれたということもありまして、この事業に参加するスタッフの子どもたち、それから、それにかかわるボランティアについてはそ</p>

れほど変わってはおりませんが、一般の来場者に関しては過去最高でした。まだ人数の正確な集計を行っておりませんので、結果はご報告できないのですが、盛況の中で行うことができました。

児童館の行事というのは、必ずしも天候がよかったから人手が多かったとも言えず、土曜日、日曜日は子どもたちも多忙ですので、雨のときに行くところがなくて児童館の行事に集中して来るということもあります。よって今回多かったのは、やはり場所がよかったのではないかな、というのが職員の感想です。

内容については、これは毎年ご報告等させていただいておりますが、6月から各児童館で小学生を中心とした「子ども会議」を開き、そこで何をしようかという案を考えて、それを元に子どもたちと一緒に準備をし、「展示」と「遊び」の各児童館のブースを設置します。さらに、一般公募の子どもたちも合わせてダンスとか、楽器の演奏とか、そういったことをステージで披露する、その2本立ての事業ということについては、今年度も基本的に変わっておりません。

その中で、子どもたちからもっと多くの意見をもらいたいということで、今回は初めて会場内に大きな模造紙を張って、そこに子どもたちの夢というものを書いてもらうということを行いました。これは、これから各児童館に持ち回りで掲示させていただくということになっておりまして、現在は貫井南児童館から順に張るよう指示をしているので、もしよかったら後ほど見ていただければと思います。基本的にはこれまでと同じで、子どもたちの意見、発想を受け入れて、彼らを主体とした事業を展開してきました。よく言えば毎年充実していくという形になりますし、悪く言うと少しマンネリ気味というのはあったかなと思います。

なお、子どもスタッフ、何をやるかというところからかわってくれた子どもたちですが、例年の4館合わせて100人近い人数から今回は80人ちょっとに減りました。ステージの出演は15組から14組なので大きな変化はなく、基本的に横ばいですが、これも8月に募集するのですけれども、当初はちょっと集まりが悪く、子どもたちに声をかけ直して、これだけ集まったという形です。基本的に重要視しているのは、一般参加の人たちよりも主催者となってくれる子どもたちなので、毎年、どこの児童館もスタッフを集めるのには多少の苦勞をしているということになります。

この事業については、小金井市子どもの権利に関する条例ができたときに、その中の子どもの意見表明や表明したい子どもたちに対する受け皿としての施設の義務を前面に出して、子どもたちのやりたいことや、子どもたちがふだん経験したいけどできないことを引き出しながら一つの形にしている事業なので、本来の趣旨からいえば、もっと子どもたちから、やりたい、やりたいという声が出てくるのが理想ではあります。ですが、こちらから、やらな

	<p>いかという声をかけて子どもたちを集めている、というところも多分にあり、そこは課題の一つだと思います。</p> <p>来年度は小金井市子どもの権利に関する条例が制定10年ということで、基本的にこの事業を制定10年の記念事業として、また新たな形で仕切り直しし、今までと違う方策も考えながら発展させる予定です。そのために、今は予算要求段階なので詳細をご説明できないのですが、また会場も変えて大々的に行いたいと考えているところです。今回ごらんいただいた委員の皆様には、ほんとうにお礼を申し上げます。ありがとうございました。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員の皆さんからいろいろとご質問などいただければと思いますけれども、今、3つの点、児童館事業について、直営館の開館時間の通年延長の試行について、具体的に数字を教えてくださいました。このことと、緑児童館からの空調改修工事とそれに伴う子どもたちの利用について。それから、先週ありました、じどうかんフェスティバルについて、この3つそれぞれありましたので、まずそのあたりからいきましょう。</p> <p>まず、1つ目の、開館時間の延長の試行について、何かご質問やご意見ありますでしょうか。お願いします。</p>
中川委員	<p>中川です。この開館延長に伴うことで、何かその時間でトラブルとかはなかったのでしょうか。</p>
倉持会長	<p>いかがでしょうか。</p>
事務局（森）	<p>それでは、今のご質問に対してお答えさせていただきます。</p> <p>トラブルというのは、例えば子どもたちの帰りが遅くなり過ぎたことについて保護者からの苦情が来たとか、近隣で何か不審者等のトラブルがあったか、という意味でよいのかと思いますが、基本的に4館ともに、若干時間とか、それから時期については、ずれがあるんですけれども、今までの5時の開館時間を延ばしたことについてのそういったトラブルは今のところなく、むしろ、低学年の子については5時で帰っていますが、もうちょっと児童館にいさせてほしいというような意見もあります。</p> <p>ただ、これは時期的なもので、今までは夏場でしたから、冬場になるとまた話は違ってくると思います。年間を通して遅くまで開館をして欲しいという意見があるかはわかりませんが、そういったいろんな要望があるとは思いますが、児童館をこんなに時間まで開けないでほしい、というような意見は、今のところいただいておりません。</p>
倉持会長	<p>おおむね好評ということなんでしょうかね。</p>
事務局（森）	<p>基本的には、小学校の下校時間が年々延びているので、今は1年生、2年生も6時間の授業を受けて帰ってくるので、特に高学年については放課後がだんだん短くなっています。児童館に来館する時間も、当初は午後2時半とか3時に来ていたのが、曜日によっては午後4時を過ぎないと来られないよ</p>

	うな状況で、放課後それだけしか開いていない児童館は何なのかというのが職員からまず出まして、そこで検討した結果なので、ある程度、地域性というか、そういった情勢を分析したうえで行っていますから、それなりの効果はあったということだと思います。
倉持会長	ありがとうございました。ほかにこの件について何かご質問。岩重さんから。
岩重委員	今の、5時には低学年を帰すということだったのですけれども、東児童館では3年生以下でも、5時以降も児童館にいることを親が許可していて、それをきちんと児童館に連絡していれば、5時以降もいられるんですね。そういうことは他の館でも考えていますか。ニーズがあれば検討していくのか、それとも一律でもう低学年は5時に帰ってくださってなるのか。
鈴木児童青少年課長	児童青少年課長です。今いただいたお話は、全館で具体的に検討している状況ではないです。閉館時間も6時と5時30分で違いますが、そういったご意見があるということは受けとめていきたいと思っています。
倉持会長	ありがとうございます。吉田委員、よろしくお願いします。
吉田委員	とにかく今年の夏は暑かったので、市内全域で夏休みのプールも悉く中止になった日がたくさんあった中で、早い時間から遅い時間まであけていただいて、涼しい時間に行けて、涼しい時間に快適な場所で過ごせる時間、場所があったというのは非常によかったと思います。5時半でもまだまだ暑い日がありますが、昼間なんかに見に行くと、涼しい場所でお弁当持参で遊びに来ている子もいましたし、ほんとうにありがたい場所だなと、私も子どもが小さいころ、もっと行かせておけばよかったなというぐらいに思いました。なので、今後も続けていっていただければありがたいなと思います。
倉持会長	ありがとうございます。 先ほど、子どもたちも、学校での生活の過ごし方も変わっている一方で、私たちの暮らし方も少し変わってきているし、そういう意味では、暑さというのも年々厳しくなっている中で、少し今後、考えなきゃいけないということをやって試行していくということは大事なことだなと思いますね。ありがとうございます。 ほかに開館時間の件について、何かご質問、ご意見ありますでしょうか。 お願いします。
山田委員	山田です。きのうの利用者懇談会で、今の時期だと4時半でもどんどん暗くなっているので、5時とか5時半になるとほんと真っ暗ですけれども、残る人数はどうですかと聞いたら、子どもたちは鐘が鳴ったら帰るという子どもが多いので、時間じゃなくて、外を見てちゃんと帰っているんだなと思って、偉いなと思いました。 あと、下校時間が遅くなっているので、それから来てグループ活動とかをやると、本当に時間が短いので、開館時間が延長されると、ちょっとスター

	ト時間が遅くなっても同じぐらいできるのかなと思います。利用してくれる子どもたちも増えるのかな、利用しやすくなるのかなと思います。
倉持会長	ありがとうございます。それでは、この件はよろしいでしょうか。 では、2番目の緑児童館の空調改修工事については、何かご質問やご意見等ございますでしょうか。お願いします。
中川委員	中川です。改修工事を行っているときに、一時使用ができなくて、乳幼児を中心にされていたと思うんです。そのときは、自由来館の小学生は学校での放課後の活動に参加していたりされていたと思うんですが、工事の影響がなくなって使えるよとなったときに、小学生の戻り具合というか、それはどんな様子なのでしょうか。
事務局（森）	緑児童館の森です。 今のご質問についてのお答えになりますが、基本的に、10月の2週目ぐらいから11月の1週目ぐらい、約1カ月弱、そのような形になりました。おっしゃられたように、乳幼児の子育てひろば事業と幼児グループについては通常どおり行いまして、それから、小学生のグループ活動、それから、申し込みが必要な一般的な行事、それについても通常どおり行いました。一部行えなかったのが小学生の自由来館者の受入れで、それが再開したときは、なかなか全市的な広報にはできなかったもので、張り紙と、来た子どもたちに「みんなに伝えて」、という形で伝えました。今年、利用が最も多い学年は5年生なんですけれども、そうしたら、5年生は一夜にして広まりました。翌日には5年生がわっと来たんですけれども、それ以外は、ちょぼちょぼという具合で、元の状態に戻るまでは1週間近くかかりました。今は普段どおり子どもたちが遊んでいる状況になりました。
倉持会長	ありがとうございます。子どもたちの口コミが効果的だということですね。ありがとうございました。 ほかにこの緑児童館の空調工事について何かございますか。 では、四館合同の「じどうかんフェスティバル」について、ご感想やご意見ありましたら、よろしくお願いします。
吉田委員	吉田です。ちょっと今さらですけれども、6月から子ども会議をされていたと思うんですけれども、各児童館、例えば何人ずつぐらい、コアな子たちが話し合いを続けていらっしゃったのか、お尋ねしてもいいですか。
倉持会長	いかがでしょうか。お願いします。
事務局（森）	今のご質問に対してですが、ちょっとまだ各館の最終的な集計が済んでいないのですが、大体各館10人ぐらい、それが多いか少ないかという判断はありますけれども、そのぐらいの子どもたちが常時スタッフとしてかかわっています。ただ、それ以外にも、特に本町児童館ですけれども、ステージに出演するためのダンスチームを結成するとか、そういった形もあります。貫井南児童館のように、日ごろ、バンド室を利用している子どもたち、高校生

	<p>に出演してみないかと声をかけたら、乗ってくれるということもあります。会議だけということに関して言えば、10人前後ぐらいで行っています。</p>
吉田委員	<p>ありがとうございます。というのは、私も当日伺いまして、非常にいい天気でしたし、もう自転車置き場があふれんばかりになっているぐらい、すごく人が今日は多いなという印象を持ちました。中抜けもしましたけれども、最後まで見せていただきまして、毎年思うんですけれども、先ほどおっしゃっていたみたいなお子さんが主体とした展開があるんですけれども、そうじゃない部分もある。今回は前より大人の手が入ったなというのも、ちょっと感じていたので、実際、子ども会議というのがどんな感じですと進められたのかなというのを知りたくて、今、伺いました。</p> <p>市内でも子ども会とかの子どもの活動はたくさんあるんですけれども、どうしても保護者である世話人とかの介入がすごく多いので、子どもが主体で、子どもが自分たちでみずからやっていって、ほんとうに子どもだけでやっているというのはすごく難しい。そもそも、子どもが忙しいというのものもあるんですけれども、その中でもこの四館合同の企画に関しては、できるだけ子ども主体的な展開をしてきましたし、今後も、それはぶれないで続けていっていただきたいなと思いました。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。ほかの委員の皆さん、いかがでしょうか。清水委員、お願いします。</p>
清水委員	<p>私も先日拝見させていただいて、各児童館ごとに工夫されているなという感じを受けました。今、お話がありましたけれども、私は本当に子どもたちが主体的にかかわってブース出展などを行っているなという印象を受けました。</p> <p>大人の手が入っている部分についても、ちょっと思ったところもありますけれども、おおむね、ブース出展やステージの出し物、そういうものは、ほんとうに子どもたちがこれをやりたいということで、みずから主体的にやっているんだろうな、という印象を受けて、自分を表現する場というのが、ああいうところにあるのは、とてもいいなと思いました。過去最高に近い人出だったということで、私もちょこちょここのぞきに行く形をとったんですけれども、ほんとうに満員御礼状態の感じだったので、お客さんが多ければ、ステージに立つ子たちもそれが励みになるでしょうし、いい表現の場になっていると感じました。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。お願いします。</p>
山田委員	<p>山田です。うちも2歳の子を連れていきました。フェスティバルの内容は2歳でもすごい楽しめて、いろいろなブースで遊んだんですけれども、11時半ぐらいに行ったのに、もう売り切れのお店がいっぱいあって、すごい繁盛しているなと思いました。小さい子でも行けるので、乳幼児親子への周知</p>

	<p>をもっとしてもいいかなと思いました。</p> <p>ただ、小学校の体育館なので、もちろんおむつ替えシートはないんですけども、スタッフの方に言ったら、小さい部屋を貸してもらっておむつ替えもできたので、用意してあることがわかると、小さい子もますます行きやすいかなと思いました。</p> <p>あとは、ステージ発表もみんな盛り上がってやっていたんですけども、お笑いの子が使っていたマイク、もうちょっと音量調整がどうにかならないかな、かわいそうだなと思いました。でも、全体的に盛り上がって、すごい人でした。</p> <p>それと、校門から何かあるのかなと思いつつ見たときに、看板が校門の外に向けてではなく、体育館入り口にあったので、校門前の歩道を通ったとき、今日ここでやっているのかなって、一瞬ちょっと不安になるような感じだったので、校門の外に向いていると、普通に前を通った人が知らなくてもふらっと行けるかなと思いました。でも、楽しく楽しめました。以上です。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。ほかにはいかがですか。じゃあ、関さん、お願いします。</p>
関委員	<p>一小でしたので、すごく行きやすかったです。武蔵小金井駅のほうから行っても近くてよかったです。あとは、不登校気味だった知っている子が、ちょうどステージに立って発表していましたので、それはすごくいい機会だなと思いました。ただ、先ほど山田委員からもありましたが、マイクのほうが、司会の子のマイクはちゃんと音量があるのに、それ以外のマイクの性能があまりよくなかったみたいで、それがちょっと残念でした。でも、よかったです。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。では、中川委員、お願いします。</p>
中川委員	<p>中川です。ステージをやっている子たちがすごくきらきらしていたのがすてきだなと思ったんですけども、そういう活動で、もうちょっといろいろな人たちも入ってもいいのかなと思ったので、そういうのは宣伝じゃないですけど、こういう活動ができるよ、児童館でも練習しているよというのが、もっともっと広まっていくといいなと思いました。</p> <p>あと、ブースのほうで男の子が目立っていたな、というか、ゲームコーナーなど、すごく楽しそうに男の子たちが率先してやっていたのがすごく印象に残りました。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。岩重委員、お願いします。</p>
岩重委員	<p>岩重です。当日、去年もそうだったんですけども、小金井市のスポーツ少年団の運動会と日にちが被ってしまっていて、うちの子も5年生の男子なんですけれども、児童館には毎日行っていて、こういう行事にも参加したいんですけども、なかなか参加できないというのがあって、ちょっと日にちが違うといいなと思うんですけども、そこはどちらも会場の都合があると思う</p>

	<p>んですけれども、ふだん利用している子ができないというのはちょっと残念だなというところがありました。</p> <p>今回、カードバトルとか、そういうところがあって、男の子がいっぱい意見を出してやっているんだな、というのがあるんですけれども、当日参加できなくても、子どもスタッフ会議とかにちょっと参加して、何かしらのお手伝いとかができるといいのかなと感じました。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ここに今、出された3つのこと以外で、児童館の各事業について何かご意見、ご質問あればと思いますが、いかがでしょうか。この間のということでも構わないと思いますけれども、7月以降ですね。</p> <p>あとは、それだけではなくて、広く児童館のあり方ということについて毎回ご意見いただいておりますけれども、先ほど開館時間延長の話もありましたが、児童館のあり方などについてもご意見、事業でも児童館のあり方についてもご意見やご質問等あれば、よろしく願います。</p>
中川委員	<p>中川です。質問なんですけれども、11月1日の市報で児童厚生員の職員募集というのを見たんですけれども、前から児童館の人員を増やしていただきたいという発言をしてきたと思うのですが、その関係で募集があったのかなと思ったので、気になったのですが。</p>
倉持会長	<p>人員が増えるということですか、という質問でいいですか。</p>
中川委員	<p>はい、質問なんですけれども、何かそういう募集があったので、今まで結構、人員の面で足りていないと思う児童館もあったので、そういうので前向きに対処していただいているのかなと思ったんですけれども。</p>
倉持会長	<p>事務局、願います。</p>
鈴木児童青少年課長	<p>児童青少年課長です。募集自体は今回2回ありまして、1回目の募集は今年度一杯で再任用の任期が終わる職員の補充分の採用試験ということで実施しました。2回目は、10月に途中退職が1名出ましたので、その欠員補充の分の採用試験で、今、実施をしているところです。</p> <p>児童館の現場に限らず事務職もそうですけれども、市全体として職員の人数を削減するという形で行っていますので、職員数を増やすというのは、なかなか厳しい状況があります。今やっている試験も、増員のための試験ではなく、欠員補充の試験です。以上です。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございました。はい、どうぞ。</p>
中川委員	<p>欠員となると、児童館で働いている先生方ってすごく大変だと思うんですけれども、すぐ補充されてというんですけれども、引き継ぎだとか、そういう面ではすごく大変なお仕事だと思うんですけれども、その部分は大丈夫なんですか。ぎりぎりというか、初めての方が来て、そういう場で対応していくというのは大丈夫なんですかね。</p>

鈴木児童青少年課長	<p>まず、引き継ぎは大丈夫ですと言わせていただきます。</p> <p>現在、市では年度途中の退職者が出た場合、年度内の正規職員の補充はなかなかしていただけない状況があります。その間、どうするかというと、採用されるまでの間、欠員補充の臨時職員で対応する、という形をとってまいりまして、その臨時職員の方も児童厚生員の有資格者で対応させていただいています。</p> <p>退職時の引き継ぎとかは、各館ごとで遺漏のないよう引き継ぎをして、ご利用いただく方々にご迷惑がかからない形でやっておりますので、その辺のところは、ご心配のないようにやっております。</p>
倉持会長	<p>よろしいでしょうか。児童館を支えるのは人ですからね。職員さんのあり方、ここでも何度か議論になっています。</p>
中川委員	<p>そうですね。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございます。それ以外にでも、ほかに何かございますでしょうか。関委員、どうぞ、お願いします。</p>
関委員	<p>近所の人の話を聞いたんですけれども、高齢者の方が本町児童館で大型紙芝居というのをやっておられたんですけれども、子どもがぼんと来て、それで転倒というか歯が折れた、とかって言われたんですけれども、それが今の話なのか、数年前の話なのかわかりませんが、そういったときの保険というのは入っているんですか。レクリエーション保険というのがありますけれども、そういったのがある、対応されているんですね、ボランティアの人が怪我をしたというときに。どうなんでしょう。</p>
田中児童青少年係長	<p>児童青少年係長です。ボランティアは児童館の利用者でもありますので、当然、来館者対象の傷害保険に入っております。また、今のケースの場合については、状況等によっては施設賠償責任保険での対応という形になる可能性もあります。ただ、そのお話がいつのお話なのか、事故について職員にお申し出をされているのかどうか、そういったところがわからないので、原則としては対応できる状態にある、とだけご説明させていただきます。</p>
関委員	<p>それで思ったんですけれども、高齢者と小さい子どもたちが交流するのはとてもいいことだと思ったんですけれども、やはりそういった危険もあるので、子どもの動きの勢いとお年寄りの体幹のなさの感じで、指導というか、そういったところも行き届かせていただきたいなと思いました。</p>
倉持会長	<p>最近の話じゃないんでしょうか。</p>
関委員	<p>わかりません。数年前かもわかりません。</p>
倉持会長	<p>そういうことが起こったときに、という話ですよ。いろいろな方にボランティアとしてサポートに入ってもらっているんで、ということですね。ありがとうございます。ほかにはいかがですか。</p>

吉田委員	吉田です。児童館の開館時間の延長についてなんですけれども、済みません、私、ちょっと聞き逃したかもしれません。本町児童館は夏休みの延長を今後していく形なのでしょうか。済みません、ちょっとわからないので。今年は、夏休み中はしていないという形で、今後は他のところを鑑みて、どういうふうな方向にいかれるのかなと。
倉持会長	じゃ、事務局から。
鈴木児童青少年課長	本町児童館は、緑児童館も一部そうですけれども、併設の学童保育所の大規模化という問題があって、本町児童館の一部屋分のスペースを利用して学童保育に対応しているという状況があります。そのため、夏休み期間中も時間延長できるかというところで、本町児童館については対応が難しいという状況です。学童のほうの対応も含めて見ていかなければいけないというところがありますので、来年度から、というところで本町ができるかどうか、まだ今は課題として残っているような状況です。やれるとかどうか、今のところ答えが出せないかなと思っております。
倉持会長	ありがとうございました。この間、学童もスペースがないという問題がかなり児童館に影響を与えているところではあるんですけれども、その後、何か進捗というか、検討、どのように進んでいるか、などありますでしょうか。
鈴木児童青少年課長	今、学童のほうも、今後の保育児童数の見込みということで、今後5年とか10年スパンで、教育委員会の推計などを参考に児童数の推移を見ていますが、小金井市は減るどころかこれからまだ増えていく要素が多くて、これから緩やかではあるんですけれども増えていきます。三小にあるあかね学童は第四、第五の保育施設をつくる方向で、現在、設計をしていて、来年工事の方向でいますけれども、ほかの学童についても当然、増える要素があります。それに対しての小学校の中で余裕教室を使わせてもらうとかということで、学校にはお話をしてきているという部分はあるんですけれども、学校自体、児童が増えていくので、すぐに何かできるかというところ、なかなか厳しい状況であるということだけしかお答えができません。どこか土地を買って建てるにしても、なかなかその土地が見つからないです。
倉持会長	しかし、あくまでも、例えば本町児童館は暫定的な学童としての利用ということで、恒常的になるということではないと理解してよろしいのでしょうか。
鈴木児童青少年課長	はい、あくまでも暫定的にということではありますので。
倉持会長	暫定的な対応としてということとは変わらないということですね。
鈴木児童青少年課長	はい。今後も対応として、学校さんのほうにも引き続き、教室を貸してもらえないとか、近隣のところでのスペースがどこかないとかというのは続けていかなければならないと考えているところです。

倉持会長	<p>ありがとうございます。ほかに何かございますでしょうか。</p> <p>それでは、その他に移りたいと思いますけれども、その他について事務局から何かあったらよろしくお願いします。</p>
鈴木児童青少年課長	<p>それでは、市のほうで取り組んでおります行財政改革の関係で、1点、ご報告をさせていただきたいと思います。</p> <p>本市では、平成29年4月からアクションプラン2020という計画に沿って検討を進めている状況でございます。児童館に関する内容としまして、児童館2館目の委託に関する課内検討を行っているところでございます。このアクションプラン自体は適宜見直しをしていくものですが、平成30年9月の見直しにおいては、児童館2館目の委託は引き続き、課内検討の事項となっております。</p> <p>この間の課内検討では、本町、緑の2館での検討が併設学童保育所の大規模化の影響で見通しの立たない状況であることから、貫井南児童館の事業を委託した場合どうかという内容で検討させていただきました。</p> <p>結果的には、現在の事業水準を維持したまま児童館単独で委託した場合、費用対効果の面で委託にメリットを見出せないということになりました。ただし、併設の公民館と一括で検討した場合などについては、今後、公民館の検討状況に合わせた継続的な検討が必要であり、平成31年度上半期まで引き続き課内検討となっている状況でございます。</p> <p>現在、課内検討の状況ですので、委員の皆様にお諮りする内容ということではございませんけれども、市の行財政改革における現状ということで、この場でご報告を申し上げます。</p> <p>以上です。</p>
倉持会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ということで、まだ具体的な何か私たちのほうで検討しなくてはいけないという段階ではないようですけれども、皆さんのほうで何かこのことにかかわってご質問などはありますでしょうか。</p>
関委員	<p>児童館の委託という話に関連して、一小・南小地区の児童館を建てられる計画がありましたよね。それはどうなっているのでしょうか。</p>
倉持会長	<p>事務局、お願いします。</p>
鈴木児童青少年課長	<p>一小・南小地区の児童館5館目というお話かと思います。そこもなかなか具体的に話が進んでいない状況でございますので、市全体の施設の状況を考えれば、今すぐにできる状況ではない、というところでございます。それまでの間については、児童館の建設予定地ではありますので、地域の方に子どもたちに使っていただけるようなイベントのスペースとしてのご活用等いただければということはお考えしております。もし、子どもたちのために、ということでは何かございましたら、そういったお話をいただければ、と考えております。</p>

倉持会長	<p>2館目の委託もまだ具体的には何も進まなそうだけれども、5館目もまだ、そういう現状だということです。市の行政、財政状況もあると思うので、検討はかなりいろいろ進められているようですけれども、今、児童館は、さっき言ったような不確定な状況がありますし、2館目についても、ままにならなそうな状況ではあるんですけれども。長いスパンで見ると、まだわからないというところではありますね。</p> <p>よろしいでしょうか。さっき事務局とも始まる前に話していたんですけれども、最近、児童館に関するニュースで都心部の墨田のほうですけれども、親1人と子ども2人までじゃないと利用できないみたいなね。それで児童館がクローズアップされたところは、良かれ悪しかれ、ありましたけれども、小金井では施設も設備もまた全然違いますので、特に人数制限はないという話でありました。何か皆さんの方から、意見や要望、今のうちに言うだけ言っておいたほうがよいこともあるかもしれません。いかがでしょうか。</p>
中川委員	<p>ほんとうに要望だけですけれども、今、何ともできないとは言われているんですけれども、学童と児童館の関係がずっと変わっていない一方、子どもたちは増え続ける、大丈夫かなという不安ですね。</p> <p>夏が暑くなってきているので、夏休みに子どもたちは児童館に来ると思うんですね。でも、児童館のスペースがないことによって、そこに居られない子どもたちが出たらどこに行くんだろうというのは、やはり心配になりますし、本町だと貫井北センターがあるんですけれども、図書館のところの少しスペースがあるところにいる、とかというんですけれども、そういうところでも邪魔になってしまうし、外といっても、夏の暑いときだときついと思うので、居場所の問題は早急に何とかお願いしたいです。</p>
倉持会長	<p>そうですね。確かにね。行政としては将来的に考えいく必要があるんですけれども、すぐにいろいろ建てられるわけではありませんし、安全・安心で伸び伸びと遊べる、過ごせる場所というのを確保するというのは重要なことです。</p>
中川委員	<p>そうですね。何か違う手段というか、どこかを借りるとか、そういう形でもいいので、何か1つずつでも、ここを頑張っているよ、というものが欲しいです。</p>
倉持会長	<p>このご時世、子どもが増える、増えていくというのはありがたいというか、うれしいことではあると思うんですけれども、それに応じた対応が自治体でできているか、というのも重要になってきますね。ありがとうございます。ほかには何かございますでしょうか。</p>
山田委員	<p>東児童館には常設子育てひろばがあるので、西側にも常設子育てひろばが欲しいという意見は私の周囲からもちょっと出ています。「ゆりかご」は坂があるので、おんぶしたり、だっこしたり、ベビーカーで坂を上がるのがちょっときついので、その意味でも、もう1箇所、常設があるといいなと思いま</p>

	す。
倉持会長	各地で、それぞれの住区で行きやすい場所があるというのが大事ですね。ありがとうございます。ほかはいかがでしょう。事務局からどうでしょうか。
鈴木児童青少年課長	すみません。本日、提供させていただいた開館時間の実態調査中間報告ということで、今の現時点までのところでの報告をさせていただきました。このあと、冬休みを含め、今後の部分のところについても、次回またご報告をさせていただいて、内容をお話させていただくということで、お願いするというところでよろしいでしょうか。
倉持会長	伺いたいですね。せっかく試行しているのだから、その実態、どうなのかということをご報告いただければと思いますので、また調査をしていただきまして、報告いただければと思います。
鈴木児童青少年課長	はい。
倉持会長	ほかに何かありますか。よろしいですか。
吉田委員	<p>すみません。全然将来の展望が見えないというか、昨今の見方では、働くお母さんのバックアップを、保育園にしてもどんどんしてきているので、結果として学童保育の利用者がどんどん増えています。</p> <p>この間、市報にも載っていましたが、増えていって、学童保育優先という言い方はちょっと変ですけども、そちらを手厚くしていっているのかな、という気はしているんですけども、ただ、管轄は同じ児童青少年課です。ここ10年ぐらいは子どもが増えると言われていたんですけども、そこからはもちろん減るんです。じゃあ、10年間、それをどういうふうに、学童と児童館と、併設している館もそうなんですけれども、そのほかに放課後子ども教室、これは、あくまでもボランティア組織なので、そこでどうやって10年間やっていくのか。</p> <p>お答えできないと思うんですけども、いっそのこと、同じ管轄なので、児童館と学童を完全に一緒にやっちゃえば、というふうに単純に思うのと、あと、児童館の開館時間を延ばしていただいたことはいいんですけども、じゃあ、学童は4時半が集団下校なので、学童の子は集団で4時半に帰っていて、児童館の子は5時半までいて、真っ暗の中、ぽつんと帰るというような状況がおこる、同じ学年の子だったら、それはちょっと少し不安ではあるんですね。</p> <p>そこをそろえるというのもなんですけれども、4時半以降の学童の子は、逆に今、この時期はお迎えなので、そういう違いも多々、同じ建物の中であり、同じ通学路の中でそれもあり、地域の者としては、できるだけ同じ時間に子どもが集団で帰れるのが一番安心ではあるんですけども、その辺の展望というか、何か10年間これでいきますみたいな、そういうふうなお考えが知</p>

	<p>りたいんですが。</p>
<p>大澤子ども家庭 部長</p>	<p>じゃあ、私のほうから。まず1つは、これから小金井市におきましても、上位計画であります長期基本構想の第5次をつくっていきます。それが上位計画になりますので、まず、子どもさん、特に今さまざまなところで言われている子どもの居場所という形の観点が大きくクローズアップされていく時代かなと思ってございます。それとあわせて、子どもに関係する総合的な計画で、のびゆくこどもプランというのがここで5年間たちますので、32年度に向けて、今現在、ニーズ調査をしている状況で、それに応じて、例えば施設規模なんかも考えていかなければいけないという形になります。ですから、その時点では、例えば学童保育なんかは、その人数に応じて、今度、どのような形で施設数を確保していくかというところを具体的に定めていかなければいけないという形の観点になるかなと思っていきます。</p> <p>学童の施設を、という、もう40人規模というふうにある程度条例で決まっているので、単純な話をすると、例えば民間の学童保育を取り入れるとか、離れたところに建てるわけにはいきませんので、学校の校庭に建てさせていただくというところ、あとは、物件的に適合するような既存の建物があるようであれば、そこを借用させていただくとかという形の考え方になるかなと思っていきます。</p> <p>それともう一つ、それと併行しての放課後子ども教室という形でございますけれども、放課後子ども教室と学童保育をあわせて総合プランという形で言われておりますけれども、放課後子ども教室については、学童保育のお子さんもそこに参加して、全体で責任を持った形を持ちながら、子どもの放課後の居場所の1つという形での事業の推進というような形を言われております。市としては今、ボランティアの中で活動していただいておりますけれども、その充実も今、少しずつ図っているという状況がございます。</p> <p>児童館自体につきましては、先ほど申したように、もともと5館構想ということで、一小・南小地区も含めて5館でやっていくために土地を購入させていただきました。ただ、国の改革等により、そこに建物を建てる資金がなかなか難しくなりましたし、その後のランニングコストも皆さん方の税金でやっていかなければいけない。5館目が計画された当時よりも、プレーパークをやらせていただいたりとか、学童ひろば事業もさせていただいている、さまざまな展開はさせていただいている部分はあるかと思っております。</p> <p>どうしても今、国全体の流れでいくと、保育園が中心になり、そのお子さんが学童に通うだろうということで、今度は学童のほうが少しずつ厚くなってきている。学童と児童館の違いというところでは、学童は基本的に保育をしなければいけないということ、児童館は自由来館施設だ、というところがありますので、その利用目的は当然変わってくる部分があります。</p>

	<p>さらに、市全体の中で今、求められているものとしては、この貫井南児童館の建物も見ていただいてもお分かりかと思いますが、全ての施設が老朽化をしてきているという現状があります。これらを引き続き使い続けていくという形に関しては、1,500億円ぐらいの修繕費用が必要ですから、施設の総量を抑制しつつ、今まで単体であった施設同士も複合化していこう、という形が全体の計画はあるんですけども、今、どちらかというと庁舎と福祉会館のほうが先となっていて、なかなか進展しない部分があります。</p> <p>それらも附随した中で、来年、再来年ぐらいの間には、個々の建物自体の計画をつくっていかねばいけなと言われておりますので、そういったものを総合的に加味していきながら、皆様方にもご提示をさせていただく機会というのは、そんなに長くかけない間に我々としても判断していかなければいけない時期には来ています。そのようにお伝えをさせていただきたいと思っております。</p>
倉持会長	<p>非常に大事な問題で、今どうするか、5年後、10年後どうするかということを考えなくてはいけないと思っております。もちろん、この児童館運営審議会では何か意見を取りまとめるということ、通す、通さないは別として、意見として出すということももちろん可能であります。しかし、中でもいろいろなご意見があると思っておりますので、またそれぞれの生活や活動の中でいろいろ見聞きしていただいて、それをまた寄せていただければなと思っております。それでは、あと何かありますでしょうか。</p>
関委員	<p>先ほどのお話の中で、東児童館は、3年生以下は、親の申請があれば5時以降も利用できる、というふうな話が出たんですけども、児童館ってそういった個人的な申請で利用できるものなんでしょうか。居場所ですから、児童館がこうですよと言ったら、それに従うものじゃないかなと思うんですけども、個別のケースで自由がきくようなことにはならないような気がするんですけども、どうなんでしょうか。ちょっとわからなかったんですが。</p>
倉持会長	<p>仕組みを教えてもらったらいいでしょうか。どうでしょうか。</p>
事務局（森）	<p>緑児童館の森です。東児童館を委託するとき、直営児童館と違う点ということで、午後6時までの開館延長を試行することになりました。対象は小学校4年生以上ですが、低学年の子どもたちは親の承諾を得れば5時以降も居てよい、ということになりました。児童館は保育や預かる施設ではないので、これは親が申請する、しないではなく、低学年の子どもたちについては児童館にその時間まで子どもが来ているということについて保護者が知っているかどうかを確認したほうがいいたろう、ということの一つのやり方です。逆に言えば高学年ならば帰宅に関して、1人で帰れるし保護者とも自分で約束できるだろうということです。なので、ちょっと委員のご発言と実態が、ニュアンス的に若干違うのかなと思っております。</p> <p>ただ、先ほどありましたが、児童館の開館時間については現在試行中であり</p>

	<p>ますので、これでいいか、ということについては、いろいろなご意見をいただきながら今後も検討していかなければいけないと思っております。今、直営児童館は5時半まで、あるいは東児童館は6時までということについては、基本的に5時になっている児童館条例とは違って、いろいろな社会的な情勢を踏まえながら、試行に試行を重ねてきているという現状なので、これについては、いずれは同じ開館時間を確定しなければいけないと考えております。その中の1つとして、東児童館の現状がある、ということです。</p>
<p>倉持会長</p>	<p>ありがとうございます。今、直営も試行していて、もちろん、委託も創意工夫でやっていただいている。今、途中経過で出してもらっている情報ですから、今年度の経過、直営でやってみてどうだったかということと、東児童館が独自でいろいろな工夫をして、それがどうだったのかという情報をあわせて、開館時間のことは議論したらいいかなと思いました。ありがとうございます。</p> <p>何かございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本日の第2回小金井市児童館運営審議会を終了したいと思います。お疲れさまでした。</p>

